

平成29年5月

水無みようこよみ

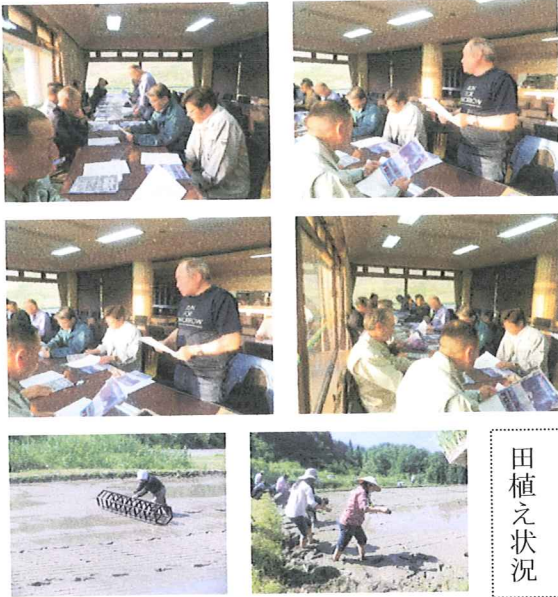
東地区地域づくり協議会
責任者 佐藤 成孝
第 25号

第六回「南魚沼産コシヒカリ」田植え交流会実施計画決定

五月八日(月)、午後六時からサイクリングターミナルに於いて、第六回「南魚沼産コシヒカリ」田植え交流会及びさなぶり開催に伴う会議が大勢の役員出席のもと、開催されました。

今年も例年のように六月四日(日)、午前八時三十分開校式のあと、堂の入り沢棚田に於いて、行われます。午前九時から田植え開始、三枚の棚田に苗を植えます。田植え終了後は全員で里山まつり(さなぶり)をバーベキュー・山菜料理・きりざい井等で、行います。

毎年、国際色豊かに大勢の皆さんが参加され、にぎやかに行われます。



田植え状況

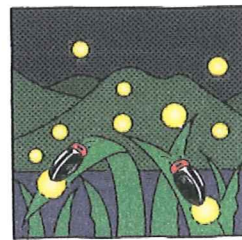
6月のこよみ

- 6/4 第6回 田植え交流会
堂の入り沢棚田
- 6/10 プナ林コンサート
大倉プナ林公園ステージ
- 6/11 第8回 南魚沼グルメマラソン
八色の森公園



- ★ 六月十日(日)
- ★ 午後一時～
- ★ おおくらの森
- ★ 入場料
一、〇〇〇円

第十四回 おおくらプナ林コンサート



ヘイケホタルの幼虫は流れのない沼や水田などでモノアラガイやヒメタニシ等の巻貝を食べて大きくなります。【以下次号でオスメスの見分け方等含め紹介します。】

環境保全のバロメーターとなる生き物です。ゲンジホタルはきれいな水の流れる川の中でカワニナを食べて育ちます。ホタルはカブトムシやクワガタなどと一緒の甲虫類に属しています。自分で発光できるのはホタルだけ、日本にはいくつかのホタルがいますが代表的なものはゲンジホタルとヘイケホタルです。この二種は、幼虫時代を水の中ですごします。水の汚れに敏感なため、土地の開発や農薬の使用などによって、自然環境のバランスが崩れると生存が危うくなります。つまり環境保全のバロメーターとなる生き物です。

夏の夜、やさしい光をはなつて飛び交うホタル。意外としらないことがあります。今、次号に分け紹介します。

この地域にやさしいホタルの光を取り戻そう

特集！環境保全のバロメーター【ホタル】



編集後記〜畑仕事等で疲労困憊です。疲れを取らなさいませぬ。次号に分け、ホタル特集です。お楽しみに〜N